

物理学専攻

	修士	課程博士	論文博士
学位論文が満たすべき基準	<p>学位の基準は理学系研究科のディプロマ・ポリシーに準ずる。</p> <p>(理学系研究科のディプロマ・ポリシー)</p> <p>東京大学大学院理学系研究科では物理学、天文学、地球惑星科学、化学、生物科学の5専攻を置き、東京大学理学系研究科憲章の定めに従って世界最高水準の教育を実施し、次に掲げる学修目標に到達した学生に理学の学位を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然界の真理の本質的な理解に向けて、新しい知を創造し、発展・継承することができる。</li> <li>・未知の問題解決のために独創的な研究を着想・遂行する能力をもつ。</li> <li>・国際的な視野と高度なコミュニケーション能力に基づいて、世界水準の研究成果を国内外に向けて発信し、理学の発展に対して貢献できる。</li> <li>・国内外の大学・民間企業・官公庁など社会の諸方</li> </ul>	<p>学位の基準は理学系研究科のディプロマ・ポリシーに準ずる。</p> <p>(理学系研究科のディプロマ・ポリシー)</p> <p>東京大学大学院理学系研究科では物理学、天文学、地球惑星科学、化学、生物科学の5専攻を置き、東京大学理学系研究科憲章の定めに従って世界最高水準の教育を実施し、次に掲げる学修目標に到達した学生に理学の学位を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然界の真理の本質的な理解に向けて、新しい知を創造し、発展・継承することができる。</li> <li>・未知の問題を自ら発掘し、その解決のために独創的な研究を着想・遂行する能力をもつ。</li> <li>・学際的・国際的な視野と高度なコミュニケーション能力に基づいて、世界最高水準の研究成果を国内外に向けて発信し、理学の発展・深化を先導できる。</li> <li>・国内外の大学・民間企業研究所・官公庁など社会</li> </ul>	<p>学位の基準は理学系研究科のディプロマ・ポリシーに準ずる。</p> <p>(理学系研究科のディプロマ・ポリシー)</p> <p>東京大学大学院理学系研究科では物理学、天文学、地球惑星科学、化学、生物科学の5専攻を置き、東京大学理学系研究科憲章の定めに従って世界最高水準の教育を実施し、次に掲げる学修目標に到達した学生に理学の学位を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然界の真理の本質的な理解に向けて、新しい知を創造し、発展・継承することができる。</li> <li>・未知の問題を自ら発掘し、その解決のために独創的な研究を着想・遂行する能力をもつ。</li> <li>・学際的・国際的な視野と高度なコミュニケーション能力に基づいて、世界最高水準の研究成果を国内外に向けて発信し、理学の発展・深化を先導できる。</li> <li>・国内外の大学・民間企業研究所・官公庁など社会</li> </ul>

	面で高い倫理観と責任をもち、先導的な役割を担うことができる。	の諸方面で高い倫理観と責任をもち、指導的・先導的な役割を担うことができる。	の諸方面で高い倫理観と責任をもち、指導的・先導的な役割を担うことができる。
審査委員の体制	審査委員は3名以上とする。  審査委員は専攻会議で決定する。	審査委員は5名以上とする。  ただし、審査委員（主査、副査）には指導教員は含めない。	審査委員は5名以上とする。  ただし、審査委員（主査、副査）には紹介教員は含めない。
審査の方法	公開された審査会で行う。	公開された審査会で行う。	公開された審査会で行う。
審査の項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論文の内容</li> <li>・口頭試問</li> <li>・学位に相当する学力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論文の内容</li> <li>・口頭試問</li> <li>・学位に相当する学力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論文の内容</li> <li>・口頭試問</li> <li>・学位に相当する学力</li> <li>・外国語の試問</li> </ul>

天文学専攻

	修士	課程博士	論文博士
学位論文が満たすべき基準	<p>学位の基準は理学系研究科のディプロマ・ポリシーに準ずる。</p> <p>(理学系研究科のディプロマ・ポリシー)</p> <p>東京大学大学院理学系研究科では物理学、天文学、地球惑星科学、化学、生物科学の5専攻を置き、東京大学理学系研究科憲章の定めに従って世界最高水準の教育を実施し、次に掲げる学修目標に到達した学生に理学の学位を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然界の真理の本質的な理解に向けて、新しい知を創造し、発展・継承することができる。</li> <li>・未知の問題解決のために独創的な研究を着想・遂行する能力をもつ。</li> <li>・国際的な視野と高度なコミュニケーション能力に基づいて、世界水準の研究成果を国内外に向けて発信し、理学の発展に対して貢献できる。</li> </ul>	<p>学位の基準は理学系研究科のディプロマ・ポリシーに準ずる。</p> <p>(理学系研究科のディプロマ・ポリシー)</p> <p>東京大学大学院理学系研究科では物理学、天文学、地球惑星科学、化学、生物科学の5専攻を置き、東京大学理学系研究科憲章の定めに従って世界最高水準の教育を実施し、次に掲げる学修目標に到達した学生に理学の学位を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然界の真理の本質的な理解に向けて、新しい知を創造し、発展・継承することができる。</li> <li>・未知の問題を自ら発掘し、その解決のために独創的な研究を着想・遂行する能力をもつ。</li> <li>・学際的・国際的な視野と高度なコミュニケーション能力に基づいて、世界最高水準の研究成果を</li> </ul>	<p>学位の基準は理学系研究科のディプロマ・ポリシーに準ずる。</p> <p>(理学系研究科のディプロマ・ポリシー)</p> <p>東京大学大学院理学系研究科では物理学、天文学、地球惑星科学、化学、生物科学の5専攻を置き、東京大学理学系研究科憲章の定めに従って世界最高水準の教育を実施し、次に掲げる学修目標に到達した学生に理学の学位を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然界の真理の本質的な理解に向けて、新しい知を創造し、発展・継承することができる。</li> <li>・未知の問題を自ら発掘し、その解決のために独創的な研究を着想・遂行する能力をもつ。</li> <li>・学際的・国際的な視野と高度なコミュニケーション能力に基づいて、世界最高水準の研究成果を</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外の大学・民間企業・官公庁など社会の諸方面で高い倫理観と責任をもち、先導的な役割を担うことができる。</li> </ul>	<p>国内外に向けて発信し、理学の発展・深化を先導できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外の大学・民間企業研究所・官公庁など社会の諸方面で高い倫理観と責任をもち、指導的・先導的な役割を担うことができる。</li> </ul>	<p>国内外に向けて発信し、理学の発展・深化を先導できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外の大学・民間企業研究所・官公庁など社会の諸方面で高い倫理観と責任をもち、指導的・先導的な役割を担うことができる。</li> </ul>
審査委員の体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論文査読委員1名。</li> <li>・修士論文発表会での研究発表の審査および口頭試問は全専攻教員で行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主査1名，副査4名以上とする。</li> <li>・指導教員、博士論文に関わる論文の共著者は審査委員になれない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主査1名，副査4名以上とする。</li> <li>・元指導教員、博士論文に関わる論文の共著者は審査委員になれない。</li> </ul>
審査の方法	公開された審査会で行う。	公開された審査会で行う。	公開された審査会で行う。
審査の項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論文の内容</li> <li>・口頭試問</li> <li>・学位に相当する学力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論文の内容</li> <li>・口頭試問</li> <li>・学位に相当する学力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論文の内容</li> <li>・口頭試問</li> <li>・学位に相当する学力</li> <li>・外国語の試問</li> </ul>

地球惑星科学専攻

	修士	課程博士	論文博士
学位論文が満たすべき基準	<p>学位の基準は理学系研究科のディプロマ・ポリシーに準ずる。</p> <p>(理学系研究科のディプロマ・ポリシー)</p> <p>東京大学大学院理学系研究科では物理学、天文学、地球惑星科学、化学、生物科学の5専攻を置き、東京大学理学系研究科憲章の定めに従って世界最高水準の教育を実施し、次に掲げる学修目標に到達した学生に理学の学位を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然界の真理の本質的な理解に向けて、新しい知を創造し、発展・継承することができる。</li> <li>・未知の問題解決のために独創的な研究を着想・遂行する能力をもつ。</li> <li>・国際的な視野と高度なコミュニケーション能力に基づいて、世界水準の研究成果を国内外に向けて発信し、理学の発展に対して貢献できる。</li> </ul>	<p>・学位の基準は理学系研究科のディプロマ・ポリシーに準ずる。</p> <p>・地球惑星科学に関連し、申請者を筆頭とする論文が国際誌に1編以上掲載または受理されていること。</p> <p>(理学系研究科のディプロマ・ポリシー)</p> <p>東京大学大学院理学系研究科では物理学、天文学、地球惑星科学、化学、生物科学の5専攻を置き、東京大学理学系研究科憲章の定めに従って世界最高水準の教育を実施し、次に掲げる学修目標に到達した学生に理学の学位を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然界の真理の本質的な理解に向けて、新しい知を創造し、発展・継承することができる。</li> <li>・未知の問題を自ら発掘し、その解決のために独創的な研究を着想・遂行する能力をもつ。</li> <li>・学際的・国際的な視野と高度なコミュニケーション</li> </ul>	<p>・学位の基準は理学系研究科のディプロマ・ポリシーに準ずる。</p> <p>・地球惑星科学に関連し、本学に関係があり、かつ申請者を筆頭とする論文が国際誌に2編以上掲載または受理されていること。</p> <p>(理学系研究科のディプロマ・ポリシー)</p> <p>東京大学大学院理学系研究科では物理学、天文学、地球惑星科学、化学、生物科学の5専攻を置き、東京大学理学系研究科憲章の定めに従って世界最高水準の教育を実施し、次に掲げる学修目標に到達した学生に理学の学位を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然界の真理の本質的な理解に向けて、新しい知を創造し、発展・継承することができる。</li> <li>・未知の問題を自ら発掘し、その解決のために独創的な研究を着想・遂行する能力をもつ。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外の大学・民間企業・官公庁など社会の諸方面で高い倫理観と責任をもち、先導的な役割を担うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ン能力に基づいて、世界最高水準の研究成果を国内外に向けて発信し、理学の発展・深化を先導できる。</li> <li>・国内外の大学・民間企業研究所・官公庁など社会の諸方面で高い倫理観と責任をもち、指導的・先導的な役割を担うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学際的・国際的な視野と高度なコミュニケーション能力に基づいて、世界最高水準の研究成果を国内外に向けて発信し、理学の発展・深化を先導できる。</li> <li>・国内外の大学・民間企業研究所・官公庁など社会の諸方面で高い倫理観と責任をもち、指導的・先導的な役割を担うことができる。</li> </ul>
審査委員の体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論文審査は3名の教員で行う。</li> <li>・口頭発表審査は公開とし、専攻の大学院担当教員で行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・審査委員は5名以上とする。</li> <li>・指導教員は主査になれない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・審査委員は5名以上とする。</li> <li>・指導教員、紹介教員は主査になれない。</li> </ul>
審査の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修士論文の審査とその後に行なわれる口頭発表の審査の結果を総合して行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公開された審査会で行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公開された審査会で行う。</li> </ul>
審査の項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論文の内容</li> <li>・口頭試問</li> <li>・学位に相当する学力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論文の内容</li> <li>・口頭試問</li> <li>・学位に相当する学力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論文の内容</li> <li>・口頭試問</li> <li>・学位に相当する学力</li> <li>・他大学出身者は専門科目，外国語の筆頭試問。</li> </ul>

化学専攻

	修士	課程博士	論文博士
学位論文が満たすべき条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学位の基準は理学系研究科のディプロマ・ポリシーに準ずる。</li> <li>・国際水準の研究成果を含み、理学の発展に資するものであること</li> </ul> <p>(理学系研究科のディプロマ・ポリシー)</p> <p>東京大学大学院理学系研究科では物理学、天文学、地球惑星科学、化学、生物科学の5専攻を置き、東京大学理学系研究科憲章の定めに従って世界最高水準の教育を実施し、次に掲げる学修目標に到達した学生に理学の学位を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然界の真理の本質的な理解に向けて、新しい知を創造し、発展・継承することができる。</li> <li>・未知の問題解決のために独創的な研究を着想・遂行する能力をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学位の基準は理学系研究科のディプロマ・ポリシーに準ずる。</li> <li>・十分な学術的価値を有し、理学の発展、深化に貢献するものであること。論文内容は国際的に発表、または公表予定でなければならない。</li> </ul> <p>(理学系研究科のディプロマ・ポリシー)</p> <p>東京大学大学院理学系研究科では物理学、天文学、地球惑星科学、化学、生物科学の5専攻を置き、東京大学理学系研究科憲章の定めに従って世界最高水準の教育を実施し、次に掲げる学修目標に到達した学生に理学の学位を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然界の真理の本質的な理解に向けて、新しい知を創造し、発展・継承することができる。</li> <li>・未知の問題を自ら発掘し、その解決のために独創的な研究を着想・遂行する能力をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学位の基準は理学系研究科のディプロマ・ポリシーに準ずる。</li> <li>・十分な学術的価値を有し、理学の発展、深化に貢献するものであること。論文内容は国際的に発表、または公表予定でなければならない。</li> </ul> <p>(理学系研究科のディプロマ・ポリシー)</p> <p>東京大学大学院理学系研究科では物理学、天文学、地球惑星科学、化学、生物科学の5専攻を置き、東京大学理学系研究科憲章の定めに従って世界最高水準の教育を実施し、次に掲げる学修目標に到達した学生に理学の学位を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然界の真理の本質的な理解に向けて、新しい知を創造し、発展・継承することができる。</li> <li>・未知の問題を自ら発掘し、その解決のために独創的な研究を着想・遂行する能力をもつ。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際的な視野と高度なコミュニケーション能力に基づいて、世界水準の研究成果を国内外に向けて発信し、理学の発展に対して貢献できる。</li> <li>・国内外の大学・民間企業・官公庁など社会の諸方面で高い倫理観と責任をもち、先導的な役割を担うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学際的・国際的な視野と高度なコミュニケーション能力に基づいて、世界最高水準の研究成果を国内外に向けて発信し、理学の発展・深化を先導できる。</li> <li>・国内外の大学・民間企業研究所・官公庁など社会の諸方面で高い倫理観と責任をもち、指導的・先導的な役割を担うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学際的・国際的な視野と高度なコミュニケーション能力に基づいて、世界最高水準の研究成果を国内外に向けて発信し、理学の発展・深化を先導できる。</li> <li>・国内外の大学・民間企業研究所・官公庁など社会の諸方面で高い倫理観と責任をもち、指導的・先導的な役割を担うことができる。</li> </ul>
審査委員の体制	審査委員は6名以上とする。指導教員が主査を務める。	審査委員は5名以上とする。指導教員が主査を務める。	審査委員は5名以上とする。
審査の方法	専攻内にのみ公開された審査会で行う。	非公開の審査会で行う。	非公開の審査会で行う。
審査の項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論文の内容</li> <li>・研究内容および学識に関する口頭試問</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論文の内容</li> <li>・研究内容および学識に関する口頭試問</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論文の内容</li> <li>・研究内容および学識に関する口頭試問</li> <li>・総説による書面審査</li> </ul>



	修士	課程博士	論文博士
学位論文が満たすべき基準	<p>学位の基準は理学系研究科のディプロマ・ポリシーに準ずる。</p> <p>(理学系研究科のディプロマ・ポリシー)</p> <p>東京大学大学院理学系研究科では物理学、天文学、地球惑星科学、化学、生物科学の5専攻を置き、東京大学理学系研究科憲章の定めに従って世界最高水準の教育を実施し、次に掲げる学修目標に到達した学生に理学の学位を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然界の真理の本質的な理解に向けて、新しい知を創造し、発展・継承することができる。</li> <li>・未知の問題解決のために独創的な研究を着想・遂行する能力をもつ。</li> <li>・国際的な視野と高度なコミュニケーション能力に基づいて、世界水準の研究成果を国内外に向けて発信し、理学の発展に対して貢献できる。</li> <li>・国内外の大学・民間企業・官公庁など社会の諸方面で高い倫理観と責任をもち、先導的な役割を担うことができる。</li> </ul>	<p>学位の基準は理学系研究科のディプロマ・ポリシーに準ずる。</p> <p>(理学系研究科のディプロマ・ポリシー)</p> <p>東京大学大学院理学系研究科では物理学、天文学、地球惑星科学、化学、生物科学の5専攻を置き、東京大学理学系研究科憲章の定めに従って世界最高水準の教育を実施し、次に掲げる学修目標に到達した学生に理学の学位を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然界の真理の本質的な理解に向けて、新しい知を創造し、発展・継承することができる。</li> <li>・未知の問題を自ら発掘し、その解決のために独創的な研究を着想・遂行する能力をもつ。</li> <li>・学際的・国際的な視野と高度なコミュニケーション能力に基づいて、世界最高水準の研究成果を国内外に向けて発信し、理学の発展・深化を先導できる。</li> <li>・国内外の大学・民間企業研究所・官公庁など社会の諸方面で高い倫理観と責任をもち、指導的・先導的な役割を担うことができる。</li> </ul>	<p>学位の基準は理学系研究科のディプロマ・ポリシーに準ずる。</p> <p>(理学系研究科のディプロマ・ポリシー)</p> <p>東京大学大学院理学系研究科では物理学、天文学、地球惑星科学、化学、生物科学の5専攻を置き、東京大学理学系研究科憲章の定めに従って世界最高水準の教育を実施し、次に掲げる学修目標に到達した学生に理学の学位を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然界の真理の本質的な理解に向けて、新しい知を創造し、発展・継承することができる。</li> <li>・未知の問題を自ら発掘し、その解決のために独創的な研究を着想・遂行する能力をもつ。</li> <li>・学際的・国際的な視野と高度なコミュニケーション能力に基づいて、世界最高水準の研究成果を国内外に向けて発信し、理学の発展・深化を先導できる。</li> <li>・国内外の大学・民間企業研究所・官公庁など社会の諸方面で高い倫理観と責任をもち、指導的・先導的な役割を担うことができる。</li> </ul>

<p>審査委員の体制</p>	<p>当専攻の大学院担当教員が、修士論文の査読と発表会、口頭試験の成績評価を担当する。</p>	<p>審査委員会は5名以上とする。</p>	<p>審査委員会は5名以上とする。</p>
<p>審査の方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修士論文発表会は、当専攻内で公開で行う。</li> <li>・修士論文と発表会、口頭試験に基づき、成績評価と合否判定を行う。</li> </ul>	<p>博士論文審査会の前半の発表会は、当専攻内で公開で行う。後半では審査委員による口頭試験を経て、学力の確認と合否判定を行う。</p>	<p>博士論文審査会の前半の発表会は、当専攻内で公開で行う。後半では審査委員による口頭試験を経て、学力の確認と合否判定を行う。</p>
<p>審査の項目</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論文の内容</li> <li>・修士論文発表会</li> <li>・口頭試問</li> <li>・学位に相当する学力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論文の内容</li> <li>・博士論文発表会</li> <li>・口頭試問</li> <li>・学位に相当する学力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論文の内容</li> <li>・博士論文発表会</li> <li>・口頭試問</li> <li>・外国語試問</li> <li>・学位に相当する学力</li> </ul>